

10月のできごと

職人技で多くの市民を魅了



▲ことし「ふじマイスター匠人」に認定された印章彫刻士の小澤聡さん(左)に学ぶ印章彫刻体験

富士市技能フェスティバル
10月13日 ふじさんめっせ

職人の技術にふれるイベントがことしも行われ、多くの人でにぎわいました。

会場では、和菓子、畳、家具などの即売のほか、職人技の体験や実演が行われました。

また、市で認定された「ふじマイスター匠人」の皆さんが、ものづくり教室を開講。名前の印章づくりやソーセージづくり、ミニ庭園づくりなどを行いました。参加者は、「匠人」の技術に感心しながら指導を受け、ものづくりを楽しみました。

金メダリストに学ぶ陸上教室開催



▲生徒たちと一緒に走りながら指導する高橋尚子さん

チームQランニングクリニック
10月14日 富士総合運動公園

ことし12月23日に開催される「富士山女子駅伝」のプレイベントとして行われた陸上教室です。

講師にシドニーオリンピック女子マラソン金メダリストの高橋尚子さんを迎え、市内中学校の陸上部の生徒123人が参加。生徒たちはストレッチや運動神経をよくする動き、走り方などの指導を受けました。

実技後、高橋さんが「あきらめずに頑張れば、きっと花は咲きます」などと話すと、生徒たちは真剣に耳を傾けていました。

地域の看護を支えるため、気持ち新たに



▲在校生代表による「誓いの言葉」

市立看護専門学校創立20周年記念式典
10月25日 市立看護専門学校

式典には、在校生のほか、卒業生や医療関係者も出席しました。

学校長による式辞、市長による挨拶のほか、同窓会・学生自治会から学校への記念品の寄贈が行われました。その後、在校生代表3人が、「これからも地域社会で貢献できるように、学びを深めていきます」と「誓いの言葉」を述べました。

また、式典後には東京女子医科大学看護学部教授の佐藤紀子さんによる講演会も行われ、在校生は熱心に話を聞いていました。